



### 10/1 楽しいひととき過ごす子どもフェスティバル

今年で9回目となる「子どもフェスティバル」が、総合福祉センター「しゃるる」で行われました。就学前の幼児とその家族に楽しんでもらおうと、町内の幼稚園や保育園など子育てに関係する機関・団体、ボランティアなどが企画・運営。当日は、縁日や魚つりをはじめ11個のブースが用意されました。また、フェスティバルの締めくくりに、町図書館司書によるパネルシアターや大型絵本の読み聞かせなども行われ、訪れた約230人の親子は楽しいひとときを過ごしました。



### 10/3 正しい個人情報の取り扱い学ぶ町内連合会研修会

改正個人情報保護法に対応した正しい個人情報の取り扱いを学ぶため、カルチャープラザ「Eki」で町内連合会主催の研修会が行われました。法の改正に伴い、町内会・自治会なども個人情報保護法が適用されることから、各町内会や連合会員25人が参加。講師に石川法律事務所 石川和弘さんを招き、改正のポイントや現行法の内容などを丁寧に説明しました。参加した初山清仁さんは「利用目的を統一化し対応していきたい」と話していました。



### 10/3 栗山の水環境を学ぶ東京学芸大学

東京学芸大学の学生16人が雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスで「水辺の学びデザインプロジェクト WASTE」を行いました。このプロジェクトは水辺の魅力体験しながらシヨートムービーなどの教材をデザインすることを目標としています。今回は、そのスタートとして北海道のさまざまな水辺を巡る「フィールド・スタディ」を実施。講師に高橋慎さんを招き「夕張川再生及びハサンベツ里山の取り組み」をテーマに、栗山町における水環境復元の取り組みが紹介されました。



### 10/4 全量1等米! 新米の出荷はじまる

中里にある栗山町農産物検査場に、29年産の新米が届きました。初出荷したのは、中谷達郎さんの「ななつぼし」180袋と橋本克己さんの「ななつぼし」300袋、片山肇さんの「ななつぼし」100袋、清水哲矢さんの「ななつぼし」132袋。3人の検査員による光沢や粒形などの厳しいチェックが行われ、全量1等米の評価が出されました。初出荷の4人には、農協関係者から記念品が手渡され、係員により持ち込まれた全ての袋に1等級米の証のスタンプが押されました。



### 10/15 みんなで子育て支援をウッドネット北海道植樹会

NPO法人ウッドネット北海道主催の植樹会が、大井分の町有林で行われました。この植樹活動は「みどりを守り育て、北海道の水環境を守り次世代に引き継ぐ」ことを目的に平成20年から実施。はじめに、南部公民館で植樹指導員のアドバイスを受けながら段ボール製の植樹ポット「カミネツコン」を製作。その後、町有林に移動し町内外から参加した親子連れなど約100人は、大きな森に育つように願いながら、ハンノキやヤナギなどの苗木計200本を植えました。



### 10/16 交通事故死ゼロ1000日達成交通安全協会に表彰伝達

町内での交通事故死亡事故ゼロが9月28日で1000日を達成したことを受け、北海道交通安全推進委員会から栗山町交通安全協会へ表彰状が贈られました。同会ではこれまで、小学校への反射材寄贈や街頭での旗振り「イエロー作戦」など、地道な交通安全活動を続け、このたび見事1000日を達成。役場応接室で行われた表彰伝達式では表彰状と記念の盾が手渡され、大塚清康会長は「1000日達成は皆さんのご理解とご協力のおかげです」と話していました。



### 10/16 夢の力 二條実穂さんが講演

栗山中学校と社会福祉法人栗山福祉会の共催による、プロ車いすテニスプレーヤー二條実穂さん（株式会社シグマックス所属）の講演会が、栗山中学校体育館で行われました。二條さんは「夢の力」リオデジャネイロパラリンピックに出場して」と題して講演。栗山中学校の3年生や特別養護老人ホームくりのさとの入居者など約120人に「夢に向かって頑張ってください」と呼びかけました。講演後には、生徒を代表して中山友里菜さんから感謝の言葉と花束が贈られました。



### 10/12 北海道新技術・新製品開発賞を受賞 さらち南農協

道産のトウモロコシを原料とした「コーングリッツ」を開発したさらち南農業協同組合が、北海道新技術・新製品開発賞食品部門の優秀賞を受賞し、札幌市で表彰されました。同賞は、道内中小企業などが開発した新技術・新製品を表彰するもの。同組合は、北海道立総合研究機構食品加工研究センターと共同して、輸入原料を主流に製造されるコーングリッツを、独自技術により道産トウモロコシ実を使って製造に成功。製造技術と農産品の有効活用が評価されたとの受賞となりました。

